

令和三年度天皇誕生日祝賀挨拶

尊敬する紳士淑女の皆さん、

2月23日は、天皇陛下の61歳の誕生日に当たります。この日を皆さんとともにお祝いできることをうれしく思います。これまでと異なりビデオ挨拶となりますが、このメッセージを御覧いただきありがとうございます。

駐ロシア日本国大使として天皇誕生日祝賀の挨拶をするのは5回目になります。しかし、今でもたくさんの新しい発見があり、ロシアでの勤務はとても充実しています。

まず、ロシアは芸術大国であり続けています。劇場、コンサートホールでは、名作を堪能することができます。美術館では素晴らしい絵画を見ることができます。しかし、ロシアを芸術大国たらしめているのは、それだけではありません。オペラやバレエは、常に斬新な新しい演出が登場します。美術館は、常に興味深い企画展を催しています。このような素晴らしい芸術を堪能できることは、モスクワ生活における私と妻の大きな喜びの一つです。

ロシアにおいて日本文化が広く愛されていることも、うれしく思います。大使館としても、伝統的なものから現代的なものまで、幅広

い日本文化紹介事業を行っています。例年モスクワで開催しているロシア最大の日本祭り「J-FEST」も昨年はオンラインで開催し、130以上のコンテンツをロシア全国で約20万人の方に参加いただきました。

また、ロシアは広大で変化に富む国です。私はなるべく多くの地方を訪れ、ロシアについて知ろうと努め、36の地方を訪問しました。ロシア全土には、合計47箇所の露日協会支部があります。それぞれが、草の根レベルで日本文化紹介事業をボランティアで実施してくれていることは、日本大使としてとても勇気付けられます。

両国間の地域間交流は、大きな潜在性を有しています。

日本とロシアの地方の隅々まで交流の輪が広がることを目指して、両首脳の合意に基づき、2020年から地域交流年が開始されました。パンデミックの状況においても、オンライン形式を含め様々な事業が行われています。昨年1月の地域交流年開始から日本側では150件を超える行事が実施され、延べ38万人以上が参加しています。皆さんもぜひ、日露地域交流年に参加していただきたいと思えます。

親愛なる友人の皆さん、

新型コロナウイルスとの闘いは、人類全体が直面する課題です。今年には東方暦で丑年に当たることを指摘したいと思います。牛は、歩み

は遅いかかもしれませんが、着実に、力強く前に進みます。我々も、新型コロナウイルスの克服に向けて、粘り強く前に進みたいと思います。

また、ロシアの科学者ミハイル・ロモノーソフは、「たゆまぬ努力は、いかなる障害も乗り越える」（„Неусыпный труд все препятствия преодолевает.“ - Михаил Васильевич Ломоносов）と述べています。一日も早く、人類がこのパンデミックを克服することを祈念します。

最後に、改めてこの記念日を我々とともにお祝いいただける皆様に、心から感謝いたします。

ありがとうございました。

（了）